

さむかわジュニア司書の育成

1 活動の概要

子どもが図書館の仕事に触れながら司書の仕事や図書館の仕組みを理解し、図書館の効率的利用方法や本を人に紹介するスキルを身につけることによって、人と本を結びつける読書推進のリーダー役として地域で活躍できるよう育成することを目的にジュニア司書講座を 2016（平成 28）年度から開始した。小・中学生を対象に夏休みに育成講座を実施し、講座修了者を「さむかわジュニア司書」に認定している。コロナ禍の影響でジュニア司書活動も中断したが、2021（令和 3）年 10 月から活動再開、育成講座も 2022（令和 4）年度から再開した。年間を通じ、寒川総合図書館での本の企画展示の選書や POP 作成、子ども対象のイベントに携わってもらうなど、読書推進活動に取り組んでいる。



ジュニア司書が選書した本を POP と共に展示

2 活動の状況、実際

【対象】小学4年生～中学2年生

【さむかわジュニア司書講座】夏休み期間中に、必修科目「①図書館と図書館司書について」「②分類と検索」「③本のしくみと装備」「④レファレンス・相互貸借」の4回と、選択科目「展示・選書体験」「ミニビブリオバトル」「読み聞かせ講義と練習」の実習を1回以上受講でジュニア司書に認定する。

必修科目欠席者には後日補講を行うなど、子ども達の学び意欲を支援する対応も行っている。

【さむかわジュニア司書活動】令和6年度講座で認定された6期生3名が、4・5期生7名とともに毎月図書館に集い、「土曜日おはなし会」の読み聞かせ実践、図書館・文書館体験ツアーの案内補助、図書展示の選書と POP や装飾作成、図書館まつり運営補助など様々な活動に取り組んでいる。



育成講座の講師は図書館スタッフが担当

3 参加者、指導者等の声

- 育成講座に参加した子ども達は積極的に発言し、メモを取るなど、意欲的な姿勢が見られた。認定式での1人ずつの感想発表してもらい、「POPづくりが楽しかった」「相互貸借の本を書架から探して引き抜きが楽しかった」「ブッカーかけが難しかった」などの司書業務への関心や意識向上が感じられた。
- 本のブッカーかけ作業や CD・DVD のケースを修理・交換を実習で行い、資料の修理も司書の仕事であることや、図書館の資料は多くの人が使うので、大切に扱ってほしいことをジュニア司書に伝えることができた。
- 夏休み期間中にジュニア司書や育成講座受講生がおすすめ本を図書館内に展示するために、選書と POP 作成を行った。展示コーナーには賑やかな POP が並び、展示期間中は貸し出される本が多く、成果が得られた。



ブッカーかけ作業